



双葉駅周辺に残された商店（2021年12月撮影）  
4ページ「11年目の福島浜通り報告」



- ✎ 天国への階段 8 瀬戸内寂聴先生のそこんところ
- ✎ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介  
マンガ賞を受賞したマンガ
- ✎ 11年目の福島浜通り報告  
原発事故被災地に行ってきました(2)
- ✎ 原発賠償関西訴訟第32回期日の報告
- ✎ 今月の五行歌
- ✎ なんちゃって農業女子(笑) 12
- ✎ 鳥取県「5本指あしぶくろ」を枚方で広めたい!!
- ✎ イベント紹介 ✎ 編集局より/会計報告

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



「天国への階段」へへ 鶴島緋沙子  
瀬戸内寂聴先生のそこんところ

二〇一九年三月十六日、その昔、彼が英語の家庭教師をしていた大学生のときに知り合い結婚し、六十五年間共に暮らした夫が逝った。八十八年の生涯を三週間ほどの入院生活で幕を降ろし、未知のあの世とやらへ旅立って行った。はや三年が経つ。

絵を描くのが趣味で、絵というよりも漫画、特に時代物にその才が表れていた。あれよあれよと見ている間にちょんまげ姿で刀を構えた武士や、頼かぶりに鍬を担いだ農民の姿が表れる。それも履いている草履や、着物の裾から書き始めるのだから、そんな才能皆無の私は、心の中では密かに驚きながらも、もっと正統派の絵を描けばいいのにとどこか冷ややかな目で見ていたのが、今、少々くやまれる。

そのうち近くの施設から依頼され、そこで作られる味のある手漉きの和紙を使った紙のカレンダーの絵を引き受けたり、漫画の童謡歌集を創ったりして、結構、自分でも楽しんでいったようだ。その上「天正の謎」という絵入りの時代小説の本も出版している。

絵の才能皆無の私は、少々得意だった文章

創りの方に気を

を向け、大阪文学学校に入り

たり、そのあと、

「瀬戸内寂聴

文章塾」に入れ

て戴き、小学生

の頃からの夢、

文章を書くこと

いうことに、少しは近づけたのではないかと思っている。

「そんな！ まだまだ！」

寂聴先生の「喝！」が聞こえる。そうだが、あの時、寂庵での写経のあと、私室へ呼ばれコーヒーを戴きながら、「自閉症」の次男の話をしたが、そのあと、

「そこよ、そこんところ、貴女、それを書くのよ、そこんところ」

突然、先生の大音声。

いつかは、文章にしてみよう。しかし、普通の苦労話やお涙頂戴ものは嫌だ。そうだが、チャップリンだ。私の好きなアメリカ映画の喜劇役者。苦悩や世の矛盾を喜劇に変えてその中に自身の思想を入れ込む。その彼の映画を思い浮かべると私の心に灯が点いた。

こうして、私の初めての小説「トミーの夕



陽」を出版することが出来、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作として取り上げて頂いた。

その「トミーの夕陽」の帯に「心潤う癒しの小説」と題して、寂聴先生のお言葉がある。「この作品は濃い涙のインクで書かれている分、読者に限りない癒しを与えてくれる。偶然にもこの作品にめぐりあって思いがけないあたたかさ、やさしさに包まれ、傷ついた心を癒されることを想像するとき私の臉は熱くなってくる」と。

いつだったか、夫と共に寂庵に伺い、彼の時代小説「天正の謎」の帯にも「大変面白くて一気に読み終えました」とのお言葉を戴いている。

今頃、足の弱っていた夫が、あとから来られた健脚の寂聴先生に追い付かれ、衣に縋りながら二人揃って天国への階段の半ばかな。

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校Ⅲ」の原作となった「トミーの夕陽」(つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。『トミーの夕陽』がまた昇る『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の元代表。



## STEMz マンガ文庫 蔵書紹介 マンガ賞を受賞したマンガ

3月と言えば年度末、2021年度も残すところあと少し。卒業や転職、引っ越しなど新生活の準備に追われる日々を過ごしている方も多いかもかもしれませんね。

私は長らく3月の年度末感、4月の新生活が始まるワクワク感と無縁の生活をしていたのですが、親族や周囲で新生活を迎える知人が増えたこともあって、ほんの少しだけ、年度末感を感じています。

今回は、まさに年度末に毎年行われている文化庁が主催するメディア芸術祭より、昨年度受賞したマンガで、マンガ文庫に蔵書がある作品をいくつかご紹介したいと思います。今年度ももうすぐ発表されるとお思いますので、「今年の受賞作品は何か？」と予想してみるのも面白いかもしれませんね！

文化庁メディア芸術祭とは

アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において優れた作品を顕彰する、文化庁主催の芸術祭です。2020年度で24回目を迎え、3月に発表されるのは25回目となります。世界の国と地域から作品の応募があり商業出版だけでなく、海外作品や自主出版作品も対象となっていて、人気や話題作とは一線を画して様々な作品に触れられる機会となっています。

### ◆ 大賞 『3月のライオン』 ◆

羽海野 チカ先生 既刊16巻 /蔵書6巻



平安時代から楽しまれていた歴史あるボードゲーム、「将棋」。プロ棋士たちの盤上での攻防戦には、視覚的な派手さもなく、将棋への深い理解が伴わなければ盤上の状態に一喜一憂することは難しいかもしれません。

しかし、多くの人を魅了し、今なお新しいスターを生み出し続けている将棋の世界を、特定のファンの流行とするのではなく、ストーリーや登場人物の魅力たっぷりに、大衆的な物語にしている羽海野チカ先生の技法に、ただただ驚かされます。

### ◆ 優秀賞 『塀の中の美容室』 ◆

小日向 まるこ先生/原作：桜井 美奈先生 既刊/蔵書 1巻完結



女子刑務所の中にある、一般客を受け入れてその髪を受刑者が切る美容室の物語。取材のために美容室を訪れた週刊誌記者の女性、家族や友人に先立たれ一人ぼっちになってしまったおばあさん、加害者家族となってしまう窮屈な生活を強いられた家族など登場人物たちの複雑な心情を繊

細なタッチで表現されています。

### 新人賞 『スイングドラゴンタイガース』 灰田高鴻先生 既刊/蔵書6巻 (電子)

LIP2022年1月号で紹介させていただきました。戦後日本、黎明期の芸能界に飛び込んだ一人の少女を主人公に、スリリングな人間模様と、日本とアメリカ双方の人々が抱える悩みや野望を描いた作品です！

### 新人賞 『空飛ぶくじら スズキスズヒロ作品集』 スズキスズヒロ先生 既刊/蔵書1巻完結 (電子)



登場人物たちの淡々とした日常を舞台に、あまりにも小さなことできつと忘れ去られていく出来事の中に、実は彼らの人生の転換期となるような心が動く瞬間を切り取った場面が描かれた短編集となっています。「小さな選択が未来をつくる」迷った時、振り返りたい時に読み返したい作品です。

(みんなでつくる学童STEMs そふえ)

[ STEMz マンガ文庫 ]で検索！

# 1 1年目の福島浜通り報告 ～原発事故被災地に行ってきました～ (2)

## 2011年の3月から時間が止まったかのような町

昨年12月の福島県浜通り訪問でも、避難指示の出ている地域に行ってきました。浪江町、双葉町、大熊町、富岡町です。「避難指示が出ている」と言っても、その地域ごとに状況は異なるし、多分、家族どころか、1人ひとりの置かれた状況は違っているはずです。当然、たまに行くだけの私はその状況をすべて知ることはできないし、その思いをわかるはずもないと思います。しかし、何人かの避難地域の人たちのお話を聞き、今の姿を直接見たときに、いろんな思いを想像することはできます。

2020年春に、オリンピックの聖火リレーを目前に、多くの地域で帰還困難区域による立ち入り禁止の柵が取り払われ、道路だけは入ることができるようになりました。JR常磐線も全線開通し、各駅も開業しました。駅前には整備され、道路は除染されて、きれいになりました。でも、そこで放射線量を測ったら、以前とそれほど変わらない数値を示します。入れるところに入って行くと、そこには2011年の3月からそのまま時間が止まったかのような町が残されています。店には当時陳列していた服やカバンが並べられたまま埃を被っています。この店の主は今いったい何をしているのだろうかと思わずにはいられませんでした。



大野駅前商店街の朽ち始めた家

その家を見たときに「この家の主が、今のこの家を見たらどんな思いだろう」と思ったのです。その家に住んできた者にとって、家は単なる「もの」ではありません。生活や思い出などが詰まった大切な存在です。津波や地震の影響がないのに、避難しなければならなくなり、11年間自由に入ることすらできない「我が家」。その家が「朽ち果てよう」としているのです。自分なら悔しくてたまらないはず。たとえお金がもらえても、新しい家を建てたとしても、新しい生活を始めていたとしても、ある日突然暮らせなくなった家、その家での当たり前前の生活は戻ってきません。

富岡町の夜の森は桜並木の名所で、たくさんの方が集まっていました。この町は今、避難指示が解除された地区と、今も還れない帰還困難区域が道を隔てて存在する町です。今も春には桜を見に来る人が多いようです。(線量は少しだけ下がったものの、まだ高い数値を示しています)今年もここに行くと、桜の形をしたメッセージが掲示されていました。「夜の森の桜最高」「元気をもらいました」「復興を祈ります」「また見に来ます」などが書かれていました。その中に一枚「夜の森の桜 さみしい 帰る家はない みるだけ」ということばが残されていました。事故前はここに家があり、毎年桜を楽しみにしていたのだろう。でも今は避難生活の中、かつての家は解体され、桜を見に来たけど、さみしさがこみ上げてきた……そんな様子が想像されます。

避難指示が解除され、復興ムードだけが宣伝されるけど、実際には解除されても11年も放置された家には住むことはできません。(その家は当然放射能に汚染されているからでもあります)事故によって今までの暮らしが破壊され、慣れない避難地での



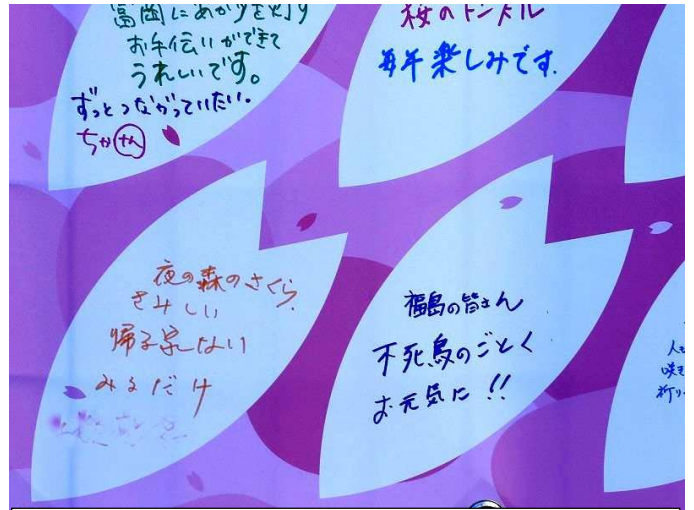
ゲートのなくなった大野駅前商店街

今回現地に行き一番心に残っているのが、JR大野駅前の商店街です。夏に行った時にはゲートで入れなかったのに、今回はすべてのゲートが取り除かれ自由に入れます。当然放射線量は下がっていません。建物は順に解体されており、以前来たときよりも建物が減っていました。残された建物を見ていると、屋根が崩れたり壁が落ちたりしている家がたくさんあります。津波の影響のある場所ではないので、11年もの間放置された家が朽ち始めているのです。



生活で必死だった住民たち。そこに壊れていない家があり、今まで通りの町があるのに、そこに住むことはできません。そしていま、その家を解体することを自分で決断しなくてはならないのです。なぜこんな思いをしなければならないのでしょうか。何が原因なのかを考えたら、その原因は天災ではないのです。原発事故が、人々にそんな思いをさせているのだという事実が本当に共通認識になっているとは思えません。事実を知らない人たちが、「避難者は甘えているとか」「賠償金を取って豪遊している」と言っていて、無責任に非難することばに、被害者たちは2次被害を受けています。今回の訪問でも改めてそんな怒りがわき上がってきました。そして、その怒りは「東日本大震災・原子力災害伝承館」に行き更に大きくなりました。(次回に続く)

文／写真 木村英生 (大阪市立中学校教員)



夜ノ森駅前に掲示されたメッセージから元住人の声

## ～「人の命」と「健康」と「ふつうの人間らしい暮らし」を求める裁判～ 原発賠償関西訴訟第32回期日の報告

2月10日(木)大阪地方裁判所で原発賠償関西訴訟第32回期日が開かれました。これは、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で関西に避難してきた人たちが、国と東京電力(以下、東電)に対し、事故の真相究明と責任の追及、損害の完全賠償、被災者全員への暮らしの支援を求める裁判です。

新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大でまん延防止等重点措置が適用されているなか、報告集会は開催されず、法廷と同時刻にオンライン模擬法廷がZoomとYouTubeで配信されました。この日法廷での傍聴者は24名、Zoom参加者は42名(運営側3名含む)、YouTubeライブ配信の視聴者は14名でした。

法廷では、原告から、準備書面84「被告東京電力主張の『定期賠償』などについて」、準備書面85「費目間流用の弁済の抗弁に対する反論」が提出され、被告・国からは、今回の津波の波圧は従来計算されていた津波の波圧より強かったため国に危険回避の責任はないとする第45準備書面、被告・東京電力からは、賠償に関する原告の主張に対する反論を述べた共通準備書面32が提出されました。原告側は準備書面85をパワーポイントでプレゼンテーションしました。

原告の準備書面は、東電が準備書面26で「どのような名目で支払ったかは法律上重要でなく、その

賠償総額が原告らの請求に対する弁済の抗弁として認められるべきである」と主張していることに対する反論です。準備書面84では避難指示区域居住者の場合について、準備書面85では自主的避難等対象区域居住者及び自主的避難等対象区域外居住者の場合について、それぞれの区域居住者に対する賠償基準を検証し、文科省の原子力損害賠償紛争解決センターの総括基準3において、実費等の賠償と精神的苦痛に対する賠償を峻別し、それぞれの損害を補填する目的で賠償が行われていることを当然の前提としていること、賠償の対象となる「損害発生期間」及び「損害費目」を特定していることを確認し、最近の新潟地裁判決も引いて、他の損害費目に充当されることがあり得るという趣旨で弁済されたことと認めることは困難であると反論しました。

模擬法廷終了後、近畿及び全国の今後の裁判の予定が紹介され、大阪高裁で審議が続けられている京都訴訟の支援者からの報告、毎月第三土曜日午後1時から開かれているオンラインZoom訴訟学習会の案内、3月4日と27日にシアターセブン(大阪・十三)で行われる「特集上映&トーク企画」などの告知が行われ、法廷から戻った原告団代表と副代表からの挨拶で、オンライン配信を終えました。

原発賠償関西訴訟の次回第33回期日は、大阪地方裁判所で5月26日(木)午後2時開廷予定です。(豊高明枝)

LIPが選ぶ

# 今月の五行歌

星空凌駕する

さなき

大朝焼け

昨日を

今日が

越えていく

ママが

入院した

3歳の はるちゃん

いつも以上に

必死に遊んでる

まゆみ

白い木蓮が

はらり

誰も見てない裏庭で花開き

おいでおいで

春

桑本明枝

五行歌(ごぎょうか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。

(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com)

または 090-5893-5635・豊高)

No.12

## なんちゃって農業女子(笑)

立春も過ぎたというのに、今年はあちこちで「豪雪」の便りが……。大阪でも積もりはしないものの、雪がちらつく寒い日が続きましたね。それでも、確実に春は来ています。

さて、今回のおはなしは…「じゃがいも」

去年の No.4 でも「じゃがいも」について書きました。そして、花がかわいいとお伝えしています。今年私は「キタアカリ」と「男爵芋」と「デストロイヤー」の3品種を植え付け予定(2月25日現在寒くてまだ植え付けが終わっていません)。

春と秋の二回栽培できるじゃがいもは、有機栽培に最も適しているので、ぜひトライしてみてください。種芋は、ホームセンターなどで2月~売られています。食べ忘れて芽が出た芋を土に植えておけば勝手に育ちます。芽が2~3個つくように切り分けて、切り口を乾燥させてから植え付けると丈夫に育ちます。

寒さには弱いので、「霜に当てない」ように植え付けたら、わらを上にかけるか、黒マルチ(黒いビニール)をかぶせるか



して下さい。少し面倒くさいのは、植え付け後に複数の芽が伸びてくる場合は「芽かき」と言っておいて、大きく育った株だけを1~2本残してあとはかきとる(残す株を手で押さえて、余分な株は引き抜く)作業を行うこと。「土寄せ」と言っておいて、芋が地上から出ていると緑化してソラニンという天然毒素ができるので、光を当てないように、土を被せ緑化を防ぐ。この二つの作業が面倒と言う訳で、最初から種芋の芽を減らす、逆さまに植えて黒マルチをかけて光を遮る、などします。

去年の秋に栽培し掘り残していたじゃがいもを、2月に掘り上げましたが、それなりに食べられました。秋のじゃがいもを保存する場合、寒さ対策と太陽光対策をしておけば、土に残したままでも冬越しできるようです。(写真)

さあいよいよ春本番、今から色々忙しくなります。次号をお楽しみに(笑)

(文・写真 へそくん)



## 鳥取県「5本指あしぶくろ」を枚方で広めたい!!

### 5本指あしぶくろ

踵（かかと）がなく土踏まずの編み方を変えて、足にフィットするように製作したフリーサイズの5本指の靴下で、とても履き心地が良く丈夫です。

出合いは、去年の日帰り旅行。知人が「智頭にいて、お昼ご飯に【みたき園】というところに行ったのだけど、山の中の古民家で、すごくいいところだったよー」という話。「えー、何回か智頭にいったことあるけど、知らなかった!」という話になり、そう聞くといきたくて仕方ない。秋にJRの乗り放題切符もあるみたいだし、コロナが落ち着いた際にレッツゴー。

すこーし乗り鉄でもあるので、智頭急行に乗ることと、みたき園に行くことだけを決めて、あとは一日のんびりと、レンタカーで回りますかと、楽しい日帰り智頭旅行。

その夕方、智頭宿の駐車場に寄ったとき、入り口にいくつかお店が出ているなかに、あしぶくろやさんもいました。生地もしっかりしていそうだし、綿の靴下と言うことで、試しに3足ほど買って帰ってはいいたところ、「何て履き心地がいいんでしょう♡」

今年の夏前に、一緒に旅行にいった知人に会ったときに「あの靴下、よかったよねー。もっとたくさん買ってよかったですなあ」と話をすると、「通販とかないの?」という話。なんか、いかないと買えないと思っていたので、「それもそうかあ」としらべてみると、



あるのはあるけど、一足ごとに送料がかかるサイトしなくて（たくさん買うと、割高だなー）というのしか見当たらない。

「10足ほどほしいねんけど、割高みたい」と前出の知人に話すと「直接頼んだら、送ってくれるんじゃない?」とこれまた目から鱗。「ついでに私のも頼んで」

というので、恐る恐るメールのやり取り。送料は100足までは同じということで、「じゃあ欲しい人募ったら、安くなるんじゃない」と言うことで、フェイスブックで欲しい人を募ったら、あれよあれよと、予約だけで50足近くになり、「腐るものじゃないし、100足頼むかあ」ということで【鳥取5本指あしぶくろ 100足商人☆たなべです】という肩書きができました。

注文すると、色柄お任せで送られてきます。土踏まずのゴムで調整するので、サイズはレディースとメンズのみ。長さも色も、一足づつ違うので、100足並べて「どれにする?」

というのと、みんな迷うポイントや選ぶ基準が違って、迷う姿を見るのが面白い。

そして履いたらホントに気持ちいいので、今枚方市には、地味にあしぶくろファンが増えています。欠点は丈夫すぎて、なかなかリピートしにくいこと(笑)

試したい人、迷いながら選びたい人は、是非一度ご連絡ください。

### 5本指あしぶくろ

☆レディース、メンズとも一足 400円。

冬用厚手は 500円です。

連絡先：[mikan-tnb123@ymobile.ne.jp](mailto:mikan-tnb123@ymobile.ne.jp)(たなべ)

### 《岸田手袋靴下製造所》

自然豊かな用瀬町で「メイドイン鳥取」にこだわり、この道38年のキャリアを持つ職人が「5本指あしぶくろ」をはじめとして靴下や手袋を丁寧に製造しています。機械から設計し、独自に開発した編み方で製作。踵がなく土踏まずの編み方を変えて、足にフィットするように製作したフリーサイズの靴下で、とても履き心地が良く丈夫です。

# イベント・サークル・ボランティア情報

■第6回寝屋川ハート・アート展  
 ■日時 2022年3月20日(日) 14:00~18:00  
 3月21日(月・祝) 10:00~18:00  
 3月22日(火) 10:00~17:00  
 ■会場 寝屋川市立 市民ギャラリー2  
 ■主催者および連絡先  
 ClubE&T、ハート・アート展実行委員会  
<https://neyagawaheart-art.jimdofree.com/>  
 ■参加費：無料  
 約3年ぶりに市民ギャラリーにて、「寝屋川ハート・アート展」を開催いたします。  
 『まっさらをぶつけれ！地底からよみがえった我々の作品は無敵だ！！』という熱いテーマにたくさんの作品を展示いたします。ぜひご来場、お待ちしております。

第25回「障害」のある子どもの高校進学を考える学習会  
 —— みんなといっしょに高校へ行きたい！！ ——  
 時：2022年3月27日(日) 1:30~5:00  
 所：ラポールひらかた 3階 研修室1  
 電話 072-845-1602  
 枚方市駅下車 北へ500m

内容：  
 1) お祝い：成人、卒業、合格おめでとう！  
 2) お話：私が経験したこと、考えたこと  
 高校生とその保護者など  
 3) 「障害」のある生徒の高校受験について  
 片岡次男さん(高校問題を考える会)  
 4) フリートーク：質問、話したい事など自由に  
 会場参加費：300円  
 申し込み：今回は、会場と、ZOOMと、両方でします。  
 ○ZOOMを希望される方は、松森へ申し込んでください。  
 ・資料代300円を、ゆうちょ銀行へ。  
 振り込み口座：ゆうちょ銀行 00910-4-308259  
 「知的障害者を普通高校へ」北河内連絡会  
 ・松森からZOOMのURLをお送りします。  
 松森のアドレス：matumori@crux.ocn.ne.jp  
 問合せ：松森 090-1960-3469 関山 090-2599-6162  
 主催：「知的障害者」を普通高校へ北河内連絡会  
 共催：寝屋川市の義務教育における医療的ケアを考える会  
 後援：大阪府教育委員会

●写真展●  
 私が見てきた「被災地」福島Ⅳ  
 ~被災の現実に向き合うために~  
 日程：2022年2月27日~3月27日(予定)  
 時間：9:30~20:00(平日) 9:30~17:00(日・祝)  
 場所：アネックスパル法円坂(JR森ノ宮駅下車歩7分)  
 ●報告会●  
 「原発事故の被害は風評被害ではない」  
 ~被災の真実に向き合うために~  
 日時：2022年3月13日(日) 14:00~(予定)  
 場所：アネックスパル法円坂  
 日程等が変更される場合があります。アネックスパル法円坂のホームページでご確認ください。

## 応援よろしくお願ひします♪ L I P 応援団

### L I P 会計報告 (前号以降)

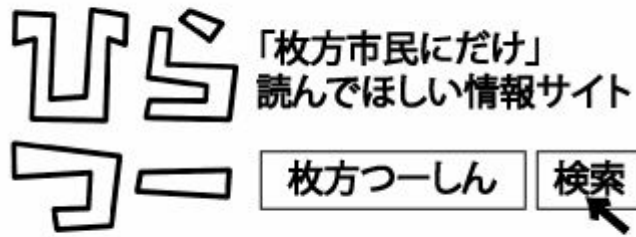
金額(円)	内容
19,185	前号から繰り越し
▼784	郵送代
▼500	ロッカー代
▼3,900	1月号印刷代
14,001	計(次号へ繰り越し)

# STOP WAR

■人類の知性を信じているわたし。知恵を絞って協力し合えば、たいていのことは乗り越えられると思ってます。戦争反対。(w)  
 ■L I Pは、市民が書き、市民が読む地域密着型情報紙です。あなたも紙面に登場してみませんか♪

## 求人~女性パートスタッフ募集

■職種：生活支援員・簡単な事務・送迎  
 ① 14:00~22:00(休憩60分)  
 5時間以上・週3日以上で相談に応じます。  
 時給1450円  
 ② 夜勤15:00~翌朝9:00(休憩240分)  
 上記時間内で相談に応じます。月に2回以上。  
 時給1100円+夜勤手当4000円  
 ※詳細はホームページをご覧ください。  
 ★京阪枚方公園駅徒歩10分(枚方市上之町)  
 ★問合せ ショートステイ みつきい  
 TEL 090-9167-7187  
 HP <https://tayuragi.com/>



「枚方市民にだけ」  
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん 検索

イラスト 表紙：平井由恵